

小学4年 算数

<県基礎学力調査の結果から>

(1) 全体 (県との比較, 経年比較から)

経年的に下降傾向が見られる。県より正答率が低い問題が多く、基礎・基本の定着に大きな課題が見られる。特に「図形」や「量と測定」領域や評価の観点の中でも「知識・理解」が弱い傾向があり、用語の意味理解や作図の方法についてより確実な定着が求められる。県を大きく下回る問題が数問あるなど、誤答の要因を細かく分析し、授業及び指導の見直しが急務といえる。

(2) 良好といえる点 (◇は, 昨年度, 今年度ともに良好な点)

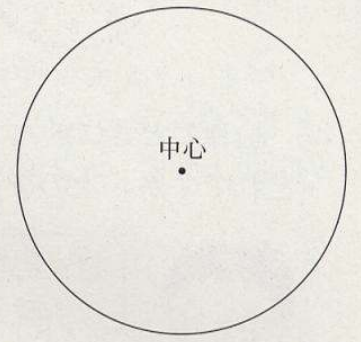
- ・基本的な四則計算について概ね正しく答えを求めることができる。(◇)
- ・乗法や除法の適用される場面がわかり, 適切に立式ができる。

(3) 課題点及び指導のポイント (◆は, 昨年度, 今年度ともに課題点)

①図形における用語の意味を正しく理解し, 作図等に活用できる

○問題4(2)

(2) 1つの円では、半径はみんな同じ長さです。
そのことを使って、右の円の中に、二等辺三角形
を1つかきましょう。直線をひくときは、もの
さしを使いましょう。



◆分析

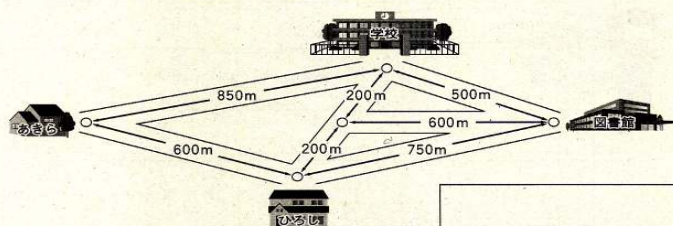
「半径」や「二等辺三角形」の意味理解が不十分であることや、問題の意味が理解できず、円の半径を使うことと三角形を作ることが結びつかなかったのではないかと考えられる。

指導改善のポイント

- ・用語の意味や特徴を教師が説明するだけでなく、児童にも表現させるなど、児童が納得して理解する工夫が必要である。その際、イメージをもちやすいよう図を活用し、実感を伴って理解させることが大切である。
- ・児童にとって忘れやすい学習事項は、単元終了後も時々取り上げるなど、繰り返し定着を図ることが大切である。

<関連する問題>

(3) あきらさんは、自分の家からひろしさんの家によって学校の前を通り、図書館に行きました。道のりは、どれだけですか。



◆分析

この問題についても「道のり」を実際の図において適用することに課題が見られる。

②量の大きさについての感覚を身につけている。(◆)

○問題3(2)

(2) 給食のときに飲んでいる牛乳を3本、1ℓますに入れました。正しい図は、どれですか。次のア～エから1つえらび、その記号を□に書きましょう。

指導改善のポイント

- ・身近な具体例を用いて、数量をます等を利用して数値化したり、他の量と比較したり、別のものに置き換えたりする活動等、量感を豊かにするいろいろな算数的活動を取り入れることが必要である。
- ・学校生活の中で数量に目を向けたり意識させたりする声かけや場面設定をする。

☛分析

「牛乳3本をそれぞれ1ℓますに入れる」というように、題意を捉え違えた児童が多いのではないかと考えられる。

しかし、県との大きな開きを考えると、「問題のよみとり」と「量感の不足」両面に課題があると考えられる。

③考え方の理由を言葉で説明したり、計算の工夫を式で説明できる。

○問題5

5 はるおさんは、けんたさんと遠足のおやつを買に行きました。おやつは、1人300円まで買うことができます。

はるおさんは、ガムとチップスとクッキーを、それぞれ1つずつえらびました。すると、けんたさんが、「あと買えるとしたら、あめしかないね。」と言いました。そのわけを、式と言葉を使って□に書きましょう。

○問題9

さとしさんの計算のくふうを使って、 $73-29$ の答えを暗算でもとめます。のもとめ方を□の中に、さとしさんのように言葉と式で書きましょう。

☛分析

自分の考えや他の考え方を言葉・数・式等で表現する経験が不足しているのではないかと考えられる。

指導改善のポイント

- ・授業の中で「自分の考え」や「友だちの考え方」を解釈して言葉や数、式、図で表現し、それをもとに再思考するなど、思考を伴った表現活動をさらに工夫する。
- ・いろいろな場面をとらえて、説明する活動を積極的に取り入れることが必要である。その際、根拠を明らかにし、他者にわかりやすく伝わるよう工夫されていることが大切である。

<今後の指導にあたって>

- 低学年の算数科指導では、具体物を用いた活動を通して自分の考えを自分なりに表現し、数量や図形がもつ意味を“子どもの目線”で理解できるよう工夫が必要である。
- 学習内容が多くなる中で、単元終了後も関連する学習内容を意図的に取り上げたり、復習する機会を授業の中に設けたりするなど、学び直しの機会を適宜設ける。